大阪工業大学
入学準備学習プログラム

学部長からのメッセージ

大阪工業大学情報科学部へ入学予定の皆さん

情報科学部では推薦入試で合格した皆さんに、通信教育と集合教育からなる入学準備学習プログラムを実施しています。今年度の 2 月のプログラムにも多くの皆さんが出席し、枚方キャンパスで基礎学力の確認、学部・学科紹介などの集合教育を実施しました。このメッセージは、当日来学されなかった人へのものです。

少子・高齢化、地球温暖化、資源枯渇などの諸問題が顕在化する中、SDGs 達成が目標に掲げられ、人間中心の社会（Society5.0）の実現へ向けた科学技術の大きな方向性が示されています。その社会とは、サイバー空間（仮想空間）と実世界（現実空間）を高度に融合するシステムによって経済発展と社会課題解決を両立する社会であり、その実現に無くてはならい技術が、情報通信技術(ICT)です。

ICT は非常に広範な技術分野を含んでいますが、情報科学部の 5 学科の教育と研究はそれら全てをカバーしており、人工知能(AI)、情報知能、データサイエンス、情報システム、情報メディア、ネットワークデザイン、実世界インタラクションに関する最先端の研究と魅力的な実践的教育プログラムが用意されています。入学直後から 5 学科共通してコンピュータの仕組みやプログラミングの基礎をしっかり学び、そして 2 年生に進級すると、所属学科の専門分野を学びながらコンピュータ科学全般の技術も学べる JABBE 認定「コンピュータサイエンスコース（CS コース）」と所属学科の専門技術を追求する「総合コース」の選択があり、そして 3 年次では希望する研究室に所属して情報ゼミナールを、4 年次では卒業研究を実施します。数学は ICT にとって必須の基礎学問であり、大学入学直後から高校までで学んだ数学を振り返りつつ、情報技術に必要な専門的で高度な数学を学んでいきます。入学までのこの時期にぜひ高校で学んだ数学を復習しておきましょう。

大学での着実な学修と単位取得のために、ゼミナールや教育センターなどの支援体制が整っており、また就職支援体制も充実しています。大学では主体的な学びが求められますが、それを通じて思考力や創造力といった能力をより高いレベルまで養えるようにさまざまな学生プロジェクトも用意されています。

情報科学部への入学は、皆さんの可能性に満ちた未来への第一歩ですが、その未来をより確かなものにするには、情報科学部で一歩一歩確実に学び，身につけた知識や技術の確実な実践力が必要です。4 月からそのような教育を受けるには入学前のしっかりとした準備が必要です。大学での授業は高校とは大きく異なります。専門的な知識や技術を深く理解するには、そのベースとなる基礎的な知識を確実に理解し、主体的に取組む態度を継続することが必要です。

あと 1 ヶ月あまりで入学式、そして新学期が始まります。集合教育に出席できなかった皆さんは、大きな希望と志を持つとともに、新たな知識や技術を受け入れる準備を怠ることなく進めてください。

皆さんとともに 4 月から枚方キャンパスで学べることを楽しみにしています。

情報科学部長

教授　塚本　勝俊